

情報公開文書

「時間軸に着目した健康管理システムの創出(食後の血糖変動に着目した研究)」へご協力いただいた皆様へ

標題「時間軸に着目した健康管理システムの創出(食後の血糖変動に着目した研究)」について、研究期間の延長を行うことについて周知させていただきます。また、引き続き実施する研究の概要を以下に示しておりますので、ご質問・ご相談等がございます場合、下記のお問い合わせ先までお問い合わせください。ご自身が提供された情報を分析してほしくないと思われました場合にも、お問い合わせ先までお申し出ください。提供者ご本人あるいはその代理人からお申し出いただいた場合は、情報の外部提供をいたしません。

個人情報とID化された個人の研究データを突合できる対応表は、当初の研究計画書通り、2026年3月31日をもって完全に削除いたします。そのため、2026年4月1日以降は、個人を特定できないデータのみを使用させていただきますので、データの削除や解析対象からの除外が物理的に困難となることをあらかじめご了承ください。

【研究代表者の変更】

変更前：松本直幸（熊本県立大学）

変更後：下田誠也（熊本県立大学）

変更理由：一身上の都合により、代表者を変更させていただきます。

【研究期間の変更】

変更前：研究承認日から 2026年3月31日

変更後：研究承認日から 2029年3月31日（3年間の延長）

変更理由：本研究での参加者のリクルートは完了しているものの、現在、未だデータ解析中であるため、研究期間の延長をお願いするものです。

【その他】

共同研究機関名の変更（東京工業大学から東京科学大学）、共同研究者の追加や役職変更を行っております。

なお、研究不参加を申し出られた場合でも不利益を受けることは一切ございません。

研究責任者

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 臨床栄養研究センター 吉村 英一

目的および利用方法

最近では、持続血糖モニターから得られる血糖値の経時的データと食事内容、身体活動、睡眠、腸内細菌叢、遺伝情報といったあらゆる生体情報を用いて血糖管理の予測モデルが構

築されています。しかし、これらは欧米人を対象とした研究であり、欧米人と比して体格が小さく、インスリン分泌能の低い日本人で適応できるかは不明である。また、既報では、朝食欠食や夜間の食事のような食事のタイミング等の時間栄養学の視点からの検討は行われていません。

本研究では、週、1日、朝・昼・夕食などの食事のタイミング、生活リズム等の時間栄養学的視点に着目し、血糖値、生活習慣、腸内細菌叢等のあらゆる生体情報の経時的データを取得します。経時的データをモニタリングすることで血糖変動の個人差の要因を評価し、集団レベルと個人レベルで生活習慣と生体情報との関係性を探索することを目的とします。

提供される情報と個人情報の扱い

提供する測定項目に関するデータは、研究責任者がデータ処理をした後は、匿名化されたデータ（個人情報を削除して誰のものかわからないデータ）として扱います。また、氏名、住所、連絡先などの個人情報は提供しません。ご自身が提供された情報を外部機関に提供してほしくない場合は下記、問い合わせ先までお申し出ください。提供者ご本人あるいはその代理人からのお申し出いただいた場合は情報の提供を停止します。

提供するデータは下記の通りです。

- ①年齢、②性別、③身長、④体重、⑤生活習慣等のアンケートのデータ、⑥加速度計による身体活動量調査データ、⑦加速度計による睡眠調査データ、⑧生活活動時間に関するデータ、⑨食事調査データ、⑩血糖指標（持続血糖装置）のデータ、⑪腸内細菌叢のデータ

研究期間

承認日～令和11年3月31日まで

情報を利用する機関の範囲

医薬基盤・健康・栄養研究所、熊本県立大学、女子栄養大学、東京科学大学、広島大学、大阪大学

情報の管理について責任を有する者の氏名

吉村英一（医薬基盤・健康・栄養研究所）、下田誠也（熊本県立大学）

お問い合わせ先（研究責任者）

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 臨床栄養研究センター

吉村 英一

〒566-0002 大阪府摂津市千里丘新町3番17号

電話：06-6384-1120(内線2518)

メールアドレス：eyoshi@nibn.go.jp